

組込みLinuxによるネットワークプログラミング技術

NEW

概要

組込みシステム開発・設計の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化(改善)に向けた組込みLinuxによるネットワークプログラミング実習を通して、ネットワークで起こりやすいエラーや復帰方法などシステムの安定化を向上するための開発・設計手法を習得します。

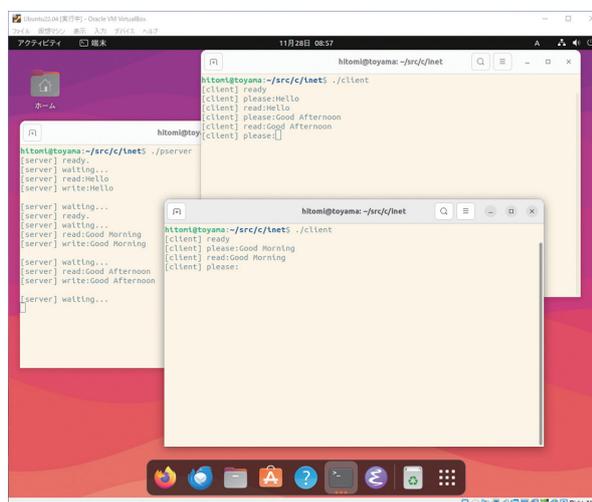
対象者

組込み機器のシステム開発・設計業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・核心的な役割を担う者又はその候補者

コース番号	日 程	時 間	日数	総時間	定 員	受講料(税込)
4D039	8/20(火)、21(水)	9:00~16:00	2日	12H	10人	9,500円

内 容

- コース概要及び留意事項
 - コースの目的
 - 専門的能力の現状確認
 - 安全上の留意事項
- TCP/IPソケット通信の概要
 - ネットワークの概要
 - オペレーションシステムの概要
 - Linuxプログラミングの特徴
 - ソケット通信の特徴
- ソケット通信プログラム実習
 - サーバ側、クライアント側のプログラミング
 - 1対1 チャットプログラム
 - 1対N 通信プログラム
 - IPv6環境にも対応できるプログラムへ改良
- トラブルへの対応設計
 - ネットワークで発生するエラーの理解
 - 通信接続中及び切断中における対処設計
 - 通信通常切断及び強制切断への対処設計
- ネットワークプログラミング実践演習
 - TCPサーバプログラムのバグフィックス演習
 - TCPサーバプログラムの安全に向けた改造演習
 - ネットワークプログラムを利用した外部機器制御演習
- まとめ
 - 実習の全体的な講評及び確認・評価



使用機器 パソコン、組込みLinuxシステム、C言語

使用テキスト 「TCP/IPソケットプログラミング C言語編」、オーム社

受講者持参品 筆記用具、データ持帰り用USBメモリ

講 師 北陸職業能力開発大学校 講師

ステップアップ

受講者の声 新規セミナーのため、受講者の声はありません。

事業主の声 新規セミナーのため、事業主の声はありません。